

## 保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ⑦ 思いもかけない、斬新なアイデアを！

コロナウイルスが落ち着いてきました。感染の数が減り、市内では感染者数が増えない状況が続いています。学校は10月、11月中に修学旅行の代替案を行います。宿泊することが危険と判断し、小学校も中学校も日帰りで計画。京都（宇治）・奈良・ナガシマ・徳川美術館・犬山城・リトルワールド・鈴鹿・名古屋港水族館など、各学校が創意と工夫を凝らした旅行プランや思い出づくりのイベントとなりました。子どもたち、教職員、そして家族の皆さんの命を最優先し、その上で思い出づくりにふさわしい計画をしていただきました。是非、子どもたちと旅行やイベントについて十分話し合ってください。

9月の終わり、4つの中学校では短縮・割愛した体育祭が行われました。それぞれ学校祭のテーマ（合言葉）のもと、授業では味わうことのできない興奮や友達との一体感を感じたようです。各学校で行われた種目や応援の様子を見ると、青年期（中学生・高校生）に必要なエネルギー放出の場となっていました。あらためて体育祭の意義を考えさせられました。

津島市教育員会では各学校区に令和4年度末までに「学校運営協議会」を立ち上げます。これは、コミュニティースクールの運営協議会で、今までの学校評議員会とは異なり、地域・家庭・学校が相互に、学校をサポートしたり、地域をサポートしたりする組織です。学校行事や出前授業だけでなく、地域防災や祭りなど地域のボランティア活動に参画・連携することをねらいとしています。時には委員の皆様には、校長先生の学校経営に対して、意見を述べていただく場ともなります。双方向性のある連携・協働をめざします。

今回のコミュニティースクールでは、今まで学校だけではできなかった思いもつかない斬新なアイデアが出ることを期待しています。例えば「親子星空教室」。真っ暗になってから学校に集まるイベントです。地域の方を講師に招き、運動場に天体望遠鏡を並べます。天体に興味のある教職員もお手伝いで参加。当然、夜のことですので、保護者の方にも付き添いをお願いします。交通安全協会の方に自転車の整理を、PTAの方に受付や当日の運営をしていただきます。大学生ボランティアに子どもたちの学習活動のサポートをお願いしたいと思います。ひとつのイベントを沢山の団体が協力・支援できる体制にしていきたいと思います。コミュニティースクールとなり、思いもよらない、不可能と思っていた新しいアイデアが実行されることを期待します。

朝刊のコラムを読むや虫の声  
曼殊沙華堤は揺れて燃えにけり

令和2年10月17日  
津島市教育委員会  
教育長 浅井厚視